

# 「あなた自身の健康状態に気を付けてください。早期発見ががんを撃退する鍵です。」



## 肺がんの生存者の妻

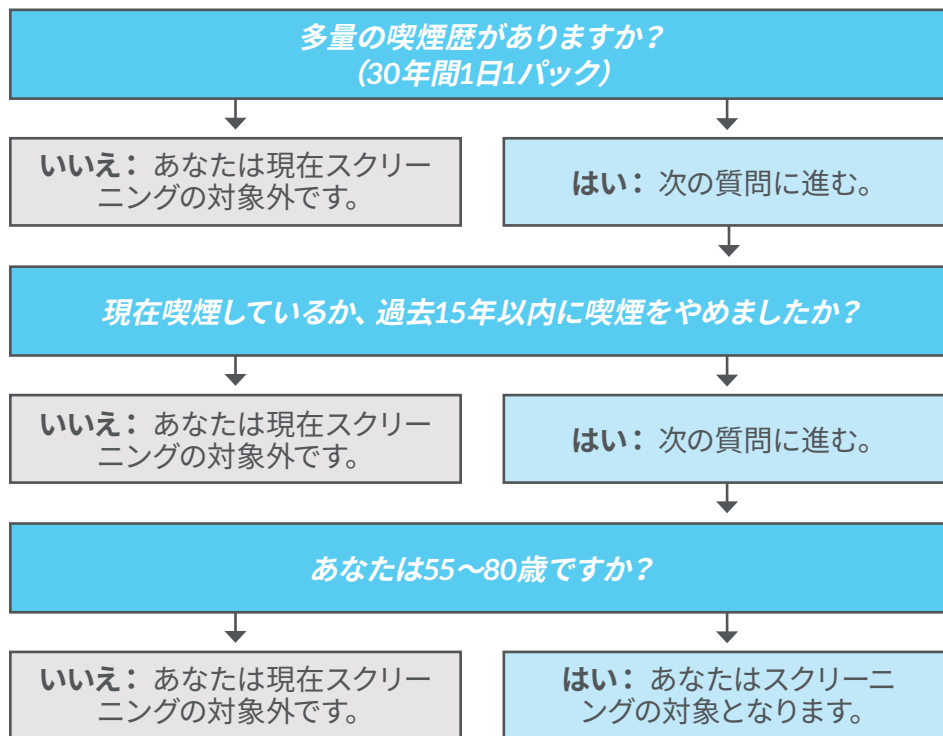
肺がんがまだ小さく、転移する前の早い段階で見つかった場合は、長く生存できる可能性が高くなります。しかし、肺がんは、咳、呼吸困難、喘鳴などの一般的な症状を伴わないことがあるため、早期発見が困難な場合があります。すでに症状がある場合は、すぐに医師に相談することが重要です。

他の病状を検査した結果、早い段階で肺がんが見つかる場合があります。例えば、心臓病、肺炎または他の肺疾患の検査の結果、肺がんと診断される場合があります。

スクリーニングでは、症状のない人の病気を見つけるための検査が行われます。現時点では、肺がんスクリーニングは喫煙歴がある人にだけ有用とされています。

## あなたは肺がんスクリーニングの対象者ですか？

ガイドラインは各国によって異なりますが、対象となるかどうかを確認する重要な質問があります。



## 次のステップは？

スクリーニングについて心配するのは当然です。主治医と相談して、肺がんになるリスクについて知り、スクリーニングの対象となるかどうかを確認してください。

スクリーニングと早期発見の重要性については、[LCAM.org](http://LCAM.org) を参照ください。

初版、2018年9月

#HOPELIVES  
より多くの研究。より多くの生存者。

